

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)

TEL 31-4581 FAX 23-7679

メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.hokkaido.jp

URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/
(釧路市ホームページからクイックリンク「釧路市議会」へ
アクセスしてください)

☆くしる市議会だより

お伝え
します

市議
会
の
こ
と

(次回の12月定例会は、12月1日(木)午前10時
から開会の予定です。)

初めて開催した「議会報告会」 市民の評価と次年度の課題

10月6日(木)、7日(金)に市内5会場で開催した「議会報告会」。釧路市議会初の試みに、138人の市民の皆さまが参加し約30人から質問や意見が寄せられました。主催した私たち議員も緊張感をもって、丁寧に説明しました。

今年4月に施行された議会基本条例において、「市民と情報及び意見を交換する場を多様に設けることを努力義務化」しました。その一つが「議会報告会」であり、今回第1回目は「情報発信と説明責任を果たすこと」ができたと思います。

次に、参加した皆さまの声を紹介します。

・市議会議員が市民の前に出て説明することは、大変良いことです。どしどしやってください。

・議会における質問・答弁内容を議員から直接生の声で聞ける機会を設けたこの「議会報告会」は大変良かったと思います。



「阿寒町公民館 参加者26人」



「コアかがやき 参加者35人」

・このような報告会はとてもいいと思います。市民の声を反映させる場は多くあつてほしい。

・今回の開催時間は、夜遅いので65歳以上の主婦が参加しにくい。会場は釧路地区(3箇所)は足りないとと思う。

・今回のような資料読みであれば広報くしるで十分。議会の説明責任を果たしただけの自己満足だけではいけない。報告会で何を示したかったのか曖昧と思う。



「音別町コミュニティセンター 参加者10人」



「コア鳥取 参加者35人」

・9月は決算議会だが、決算については何も触れていなかった。予算・決算も触れていいのではないかと。これらの意見を踏まえて、次回の「議会報告会」開催に向けて、日時・会場・内容・運営など課題を整理し、具体化します。

また、会場で出された質問・意見は「PFI方式導入の検討が不十分。議会でも徹底した議論を」「TPPには断固反対。議会として国に要請すべき」「町内会加入促進について議会議論は行われているのか」「アイヌシアターの設計変更の要因は何か」「ベトナム

の研修生と交流してほしい」など、多岐にわたっています。今後、項目別に整理して議会運営委員会、常任委員会・特別委員会、また、行政の関係部署などに伝えます。また、今後とも、活発な意見交換を目指し「議会報告会」を開催しますので、市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

(この面の文責・梅津則行議会広報特別委員長)

議会報告会参加議員

【阿寒町公民館】

黒木 満議長 ・ 高橋一彦議員
森 豊議員 ・ 松尾和仁議員
上口智也議員 ・ 畑中優周議員

【音別町コミュニティセンター】

月田光明副議長 ・ 戸田 悟議員
梅津則行議員 ・ 三木 均議員
松永征明議員 ・ 大島 毅議員
続木敏博議員

【コア鳥取】

黒木 満議長 ・ 秋田慎一議員
梅津則行議員 ・ 山口光信議員
金安潤子議員 ・ 佐藤勝秋議員
草島守之議員

【コアかがやき】

月田光明副議長 ・ 酒巻勝美議員
梅津則行議員 ・ 土岐政人議員
宮田 団議員 ・ 松橋尚文議員
石川明美議員

【コア大空】

黒木 満議長 ・ 村上和繁議員
森 豊議員 ・ 秋田慎一議員
菅野 猛議員 ・ 鶴間秀典議員

※なお、渡辺慶蔵議員は公務出張のため、宮下健吉議員は都合のため、参加することができませんでした。

党派略称説明

自民ク 自民クラブ
自新ク 自由新政クラブ

市民連 市民連合議員団
市政ク 市政クラブ

公明 公明党議員団
政進会 政進会

共産党 日本共産党議員団

議会日程

9/2

議会運営委員会
石炭対策特別委員会

9月定例会

(会期29日間)

9/7

報告説明
市政提案
質疑・一般質問

9/8、9

質疑・一般質問

9/12~15

常任委員会審査

9/16

常任委員会採決

9/20

委員長報告
本会議採決

9/21、22、26~28

決算審査特別委員会審査

10/4

決算審査特別委員会採決

10/5

委員長報告
本会議採決

9月7日開会し、10月5日閉会した釧路市議会9月定例会。23年度一般会計補正予算案など33の議案が提出され、すべて原案どおり可決しました。
また、22年度各会計・企業会計の決算8議案が提出され、認定しました。そして、議員提案の意見書6件を原案どおり可決し、市民団体から提出の陳情1件を採択しました。

防災対策など3点に質問が集中した
9月定例会

9月定例会の一般質問は、9月7日から9日までの3日間、17人の議員が登壇し、市政全般について質問しました。

今回の質問項目は、6月定例会に引き続きの「防災対策」、そして、「原子力発電所事故の影響」、「自然エネルギー」の3点をほとんどの議員が取り上げ、活発な議論となりました。

一問一答方式を12人が選択

6月定例会から導入した一問一答方式の一般質問。6月定例会では、15人中7人の議員がこの方式で質問しました。9月定例会では、質問に立つ

フィットネスセンター関連陳情は
継続審査

た17人中半数を超える12人の議員がこの方式を選択し、議会議論がより分かりやすくなっています。
また、今回は、73人の方々が議会を傍聴されました。次回の定例会は、12月1日(木)開会予定です。より多くの傍聴をお願いします。

今回の委員会審査では、経済建設常任委員会において6月定例会から継続審査中の「フィットネスセンター」の存続を求める「趣旨の陳情2件」に、その後の経過も含め再度審査を行いました。また、「市立阿寒病院の今後のあり方」に関し、関係委員会で議論がありました。

本会議
質疑・一般質問

今定例会では、9月7日から、3日間にわたり、17人の議員により質疑・一般質問が行われ、12人が一問一答、5人が一括方式を選択しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。(質問順に掲載)



共産党 石川 明美議員

問 財政健全化推進プランによる公共施設見直しの効果額は、24年度が5千万円である。この計画から見てフィットネスセンターの存続は可能ではないか。

答 公共施設見直しによる効果額は、5千万円を上回る事が重要なポイントと考えている。フィットネスセンターの今後のあり方は、本見直しとは別に整理されるべきものとなる。



自民ク 三木 均議員

問 新釧路川の堤防は、軟弱地盤の上にあり、また、護岸工事も大部分が施されておらず、地震及び津波に対して極めて脆弱であり、早急に対応すべきではないか。

答 河川管理者である国において、災害復旧等による堤防の地震対策が講じられ、安全性の向上が図られてきており、今後も必要な対策を要望していきたい。



市民連 松尾 和仁議員

問 スポーツ合宿誘致のため、体育施設・宿泊施設の案内、スポーツ合宿の実績などを掲載したガイドブックを作成するとともに、ホームページでも公開すべきではないか。

答 22年度から合宿誘致パンフレットを作成し、また、市のホームページにも掲載の上、PRに努めているが、今後さらに内容の充実を図っていきたい。



公明 上口 智也議員

問 今回の橋北東部地区連町での津波避難訓練における避難経路中、商業施設2階駐車場に向かうスロープは、相当な距離と斜度があり、迅速に避難をするためには手すりが必要と考えるがどうか。

答 商業施設側とは、近日中に意見交換を予定しており、同訓練参加者からの意見も含め、何らかの工夫ができないか協議していきたい。



自新ク 森 豊議員

問 東日本大震災や原発事故による風評被害で観光業も多くのキャンセルなどにより大きなダメージを受けているが、市として補助事業の実施を検討すべきではないか。

答 観光業は、前年比72%減になりNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構と阿寒湖温泉旅館組合から市に対し支援要望があり、財政は厳しいが効果的な支援を検討したい。



市政ク 金安 潤子議員

問 子どもたちの学力を向上させるため、教職員のレベルアップに向けた研修事業を充実させることが必要と考えるがどうか。

答 今後も、子どもたちに最適な教育環境を提供していくという教職員の使命が果たされるよう市教委として充実した研修講座の実施に努め、教職員の資質向上を図っていききたい。



政進会 松永 征明議員

問 公共施設をはじめ一般施設への自然エネルギーの導入を積極的に推進し、これを活用した地域活性化策を図るべきではないか。

答 国における資源エネルギー政策や自然エネルギーに関わる法律の整備、先進的な自治体や企業の取り組みなどについて情報収集し、今後の自然エネルギーの活用に向けての可能性を模索していきたい。



共産党 村上 和繁議員

問 東日本大震災に伴う被災地の瓦れき処理への協力依頼については、自然界を超える放射性物質に汚染された廃棄物は受け入れられないよう約束してほしい。

答 廃棄物の受け入れチェックについては、道と十分協議をしたい。また、自然界を超える放射性物質が検出された場合については受け入れられないという立場で対応していきたい。



自民ク 山口 光信議員

問 学校施設の耐震化事業をPFI方式で進める上で、下請けを含め市の地元企業が受注できるように十分配慮すべきと考えるがどうか。

答 学校耐震化事業を仮にPFI事業で実施する場合においても、これまでどおり地元事業者が受注することが望ましいと考えており、現在実施している調査において課題を精査し、より良い制度を検討していきたい。



市民連 大島 毅議員

問 市の立地条件を生かした太陽光や地下資源を有効に活用した自然エネルギー利用発電所を誘致する考えはないか。

答 当地域は太陽光発電に適した条件がそろっていると考えており、メガソーラー発電所の誘致については、1社の現地視察に対応しているが、今後とも事業者の動向に注目しながら適切に対応していきたい。



自新ク 戸田 悟議員

問 防災訓練では、海上自衛隊の呉地方総監部・大湊地方総監部の協力を受けており、更なる災害対処能力向上は市政運営に発揮されることから、市として表敬すべきである。

答 海上自衛隊との連携はこれからも重要であり、今後の訓練の必要性からも機会をとらえて表敬訪問が実現できるよう検討していきたい。



市政ク 土岐 政人議員

問 大楽毛南地区の避難施設として、市有地や民間の土地を活用し、土盛りによる高台避難場所を造成することが効果的と考えるがどうか。

答 津波の浸水予測区域の中に土盛りをして、津波を受け流す方法は、東北地方の被災地の復旧計画の中でも検討されているものであり、新たな津波避難対策の方法として、情報収集に努めたい。



政進会 鶴間 秀典議員

問 市所有の未利用地を町内会や公的団体、学校、福祉施設などに農園として、無償で貸し出す考えはないか。

答 今後、町内会などから申し出があれば、23年度より試行している「未供用公園の農園貸出し」と同様の条件で貸し付けできる未利用地を整理し、対応していきたい。



共産党 梅津 則行議員

問 福島第二原発の沖合の海底土から検出されたストロンチウム90の測定を、魚種別に長い期間にわたり行うことを国に強く求めるべきではないか。

答 国は、水産物の放射性物質調査事業で、広域に回遊する魚種14種を今後モニタリングしていく方針を出しており、今後も継続して検査を行うよう強く要請していきたい。



自民ク 草島 守之議員

問 国土交通省が「空港運営のあり方検討会」を立ち上げ、報告書が取りまとめられたが、釧路空港の存続に向けた市の取り組みについて示してほしい。

答 道の「道内13空港を守る」という立場を踏まえ、まずは空港所在自治体と情報・認識を共有する場を設置し、道内空港のあり方を協議していくことが必要であると考えている。



市民連 宮田 団議員

問 東北地方の被災地の瓦れきの受け入れについて、放射性物質環境汚染対処特別措置法の成立以前に手を挙げているが、これまでの経過と今後の方針について示してほしい。

答 市としては、7月の道の調査において、改めて受け入れする災害廃棄物に放射性物質の問題が無いことを前提として回答しており、今後もこの対応方針は変更しない。



市民連 渡辺 慶藏議員

問 国際バルク戦略港湾を、将来ビジョンにしっかりと位置付けて港湾都市釧路のまちづくりに取り組みべきと考えるがどうか。

答 釧路港が国際バルク戦略港湾に指定されたことで、波及効果も東北海道全域に及ぶものであり、加えて、東日本の穀物ネットワークの形成、酪農・畜産の経済安定化と国際競争力強化がなされるものと考えている。

委員会審査

3常任委・3特別委

今定例会では、3常任委員会と22年度の各会計決算審査特別委員会・企業会計決算審査特別委員会及び石炭対策特別委員会の審査が行われました。その中から、主な審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

土岐 政人 委員長

全国学力調査では、釧路市は全国でも最下位レベルにある北海道の平均を下回っている。道は、26年度の全国調査までに全国平均以上を目指すとしているが、教育委員会としての学力向上に向けた取り組みや目標を聞きたいとの質問がありました。

教育長は、まずは全道平均を上回ることを目標に取り組みを進めていきたいと考えている。また、市では教育推進

計画は未策定であり、24年度以降の策定作業で具体的に目標をどう掲げるかということも含め、明らかにしていきたいと答えました。

経済建設常任委員会

鶴間 秀典 委員長

6月定例会で継続審査となったフィットネスセンターの存続を求める趣旨の陳情書2件に関し、来年度すぐに設備更新しないと施設を使用できないのか。また、慎重に議論し結論を出すために1年程度営業を延長できないのかとの質疑がありました。

理事者は、点検の結果、床や天井、ろ過機など主要部分の修繕と設備更新が求められており、1億7千万円程度の費用が必要である。また、その状況で施設運営をしていくことは、利用者や指定管理者に対し責任を持った対応とはならないものと考えています。

民生福祉常任委員会

宮田 団 委員長

市立釧路総合病院において実施する地域周産期母子医療センター整備事業により、新生児・未熟児室は4床から8床に増設され十分となるのか。今後も産婦人科は医師5名体制のままなのかとの質問がありました。

理事者は、同病院での分娩数が以前の年間約400件から約700件に増加しているため増設するものであり、8床で対応できると考えている。医師については、全道的に不足しており、現行体制の維持が重要である。釧路赤十字病院と協力連携し、地域の産婦人科の医療を守っていききたいと答えました。

※1 ストロンチウムとは、人工放射性。カルシウムと似た性質を持ち、化合物は水に溶けやすいものが多い。体内摂取されると、一部は速やかに排泄されるが、かなりの部分は骨の無機質部分に取り込まれ、長く残留する。
 ※2 放射性物質汚染対処特別措置法とは、「平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」の略。
 東日本大震災による東京電力の福島第一原子力発電所事故による放射性物質で汚染された瓦れきや土壌などの処理のための法律。

各会計決算審査特別委員会

酒巻 勝美 委員長

週4回の介護保険配食サービス
週7回に拡大すべきとの質疑があり
ました。

理事者は、釧路・阿寒・音別地区で
利用回数が統一されていない状況にあ
り、市民要望を踏まえ次期介護保険
計画策定市民委員会に提案してい
きたいと答えました。

また、生活保護費を国の全額負担
にすべきとの質疑がありました。

市長は、全額国庫負担が望ましく
国に要望しているが、今後も全国市長
会を通じ要望していくと答えました。

【各会計決算審査特別委員】

- ◎酒巻勝美 ○山口光信 続木敏博
- 秋田慎一 森 豊 金安潤子
- 松永征明 大島 毅 石川明美
- (◎委員長○副委員長)

企業会計決算審査特別委員会

菅野 猛 委員長

市立阿寒病院の医師確保及び改革
プランの達成に向けた市長の取り組
みと認識について質疑がありました。

市長は、医師確保ができないこと
によって、改革プランの達成が困難にな
っていると認識している。市全体の重
要課題として、阿寒地域にしっかり医
療機能を確保する結果責任が大切に
あると認識した上で、医師確保に向け
てさまざまな取り組みを積極的に行
っている。23年度においても、市全体
としての取り組みを継続していくと
答えました。

【企業会計決算審査特別委員】

- ◎菅野 猛 ○松尾和仁 三木 均
- 松橋尚文 鶴間秀典 村上和繁
- 戸田 悟 土岐政人 宮田 団
- (◎委員長○副委員長)

石炭対策特別委員会

畑中 優周 委員長

国に対する24年度以降の産炭国石
炭産業高度化事業継続についての要望
活動はどのような状況かとの質問があ
りました。

理事者は、一定の理解を得られたが、
震災の影響もあり、これまでどおりの
事業継続は難しいといった国の考え方
が示された。市としては、国内唯一の稼
行炭鉱としての技術力や、国のエネルギ
ー政策としての位置付けの重要性を強
く訴えてきており、今後とも粘り強く
要望活動を続けたいと答えました。

永年在職議員表彰

全国市議会議長会から、次の議員が
表彰され、9月定例会に先立ち、議長
から表彰状が伝達されました。

(議員在職10年以上)

菅野 猛 議員 梅津則行 議員
なお、同会から、二瓶雄吉前議長が、
議員在職25年以上表彰と役員感謝状
を受けました。

姉妹都市を親善訪問

姉妹都市等交流促進議員連盟では、
7月21日から23日の日程で黒木満議
長、同連盟理事長戸田悟議員ほか2
名が湯沢市を、7月20日から22日の
日程で、同連盟理事高橋一彦議員ほ
か3名が鳥取市を訪問し、友好の絆
を深めました。

平成23年 第5回 9月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(認定・同意)となったもの(39件)

市長提出議案		議案	
予 算	平成23年度一般会計補正予算	契 約	行政情報システム(財務会計、電子決裁、人事給与、サーバ機器等一式)の製造
	平成23年度介護保険特別会計補正予算	人 事	教育委員会委員の任命について同意を求める件
	平成23年度駐車場事業特別会計補正予算		公平委員会委員の選任について同意を求める件
	平成23年度動物園事業特別会計補正予算	そ の 他	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件
	平成23年度病院事業会計補正予算		和解成立の件(2件、株式会社釧路振興公社特別清算関係/医療事故)
	平成23年度水道事業会計補正予算		訴えの提起の件
	平成23年度公設地方卸売市場事業会計補正予算		市道路線の認定の件
	平成23年度市設魚揚場事業会計補正予算		釧路河畔駐車場及び釧路錦町駐車場の指定管理者の指定の件
平成22年度工業用水道事業会計決算認定の件	夜間急病センターの指定管理者の指定の件		
平成22年度公設地方卸売市場事業会計決算認定の件	市民環境部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件		
平成22年度市設魚揚場事業会計決算認定の件	福祉部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件		
条 例	障害者基本法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	産業振興部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	水産港湾空港部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	都市整備部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	都市公園条例の一部を改正する条例	阿寒町行政センターの所管する公の施設の指定管理者の指定の件	音別町行政センターの所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	港湾環境整備施設条例の一部を改正する条例		
財 産	スポーツ振興助成条例の一部を改正する条例		
	土地取得の件(道公営住宅愛国団地(3棟)用地の取得)		
意見書	議 員 提 出 議 案		
	電力多消費型経済からの転換を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか2大臣)		
	軽油引取税等に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)		
	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか7大臣)		
	ガソリンスタンド等の地下貯蔵タンクの規制強化への対応に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)		

◎ 賛否が分かれたもの(8件)

○賛成 ×反対

市長提出議案		議案							審議結果
件 名	会派名[()内は議員数]	自民ク(6)	市民連(6)	公 明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(2)	政進会(2)	
決 算	平成22年度各会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認 定
	平成22年度病院事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認 定
	平成22年度水道事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認 定
	平成22年度下水道事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認 定
	平成22年度港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認 定
条 例	市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	可 決
意見書	議 員 提 出 議 案								
	JR三島(北海道、四国、九州)・貨物会社に係る税制特例の恒久化等を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)	×	○	○	○	○	○	×	可 決
	北海道電力による「やらせ」問題の徹底究明を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか1大臣、北海道)	○	○	○	○	×	×	○	可 決

※自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。また、市政クの議員数は3人ですが、宮下議員が欠席しているため2人としています。

◎ 請願・陳情(3件)

○採択 ×不採択 △継続審査

件 名	会派名[()内は議員数]	自民ク(6)	市民連(6)	公 明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(2)	政進会(2)	審議結果
陳 情	東北地方被災地の放射能汚染瓦れきを持ち込ませないことを求める件	○	○	○	○	△	○	△	採 択
継続審査中の陳情	フィットネスセンターの存続を求める件	△	△	△	△	△	△	△	継続審査
	フィットネスセンターの存続に関する件	△	△	△	○	△	△	△	継続審査

※自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。また、市政クの議員数は3人ですが、宮下議員が欠席しているため2人としています。